

図書館においてある本の中から
おすすめのものをおピックアップ。
バラエティに富んだ本を紹介いたします。

かたつむりぼうやとかめばあちゃん

西平 あかね 文・絵



かたつむりのぼうやとかめのばあちゃん。ゆっくり楽しい1日のはじまります。

町立
鷹巣図書館
TEL0996-86-1111

町立
指江図書館
TEL0996-88-6500



病気になるない！たまねぎ氷健康法

村上 祥子 著

高血圧や糖尿病予防、疲労回復などさまざまな薬効をもつ「たまねぎ氷」健康法を紹介します。

Pick Up publication

長島
文芸

Nagashima Bungei
ながしまぶんげい

明神俳句会

むらさきに胡麻咲きのぼる古墳の地 淵脇 護
小気味よい音も味わひ胡瓜噛む 竹内 功
竹の秋鎖す生家に手を合はす 二階堂妙子
恵比寿市茅屋の港は明け早し 筑前 初市
濁りまだ消えぬ田植の水浅く 二階堂恵子
ビール飲む老のあらはな喉仏 山寄加代子
茶話会に集ふ仲間や花しようぶ 関 佳代美
田に張りし水面に動く雲の影 中橋 藤七
立葵天べん向けて発射台 大堂 早苗
大胆に足組み替へてさくらんぼ 迫口 君代
気がつけばトマトの香る季節なり 大堂 正弘
紫陽花や色とりどりに咲き満ちて 坂口 静子

庭畑の葉は黄色に葉は垂れて強き陽射しを日すがら受くる 本田 幸子
老義母の介護に尽くす青年はためらひもなく生き生き動く 松元 睦子
梅食みつ水飲みボール打つ友は幼子の如顔のかがやく 吉田 映子
ひたすらに農ひと筋と生きて来て今安らげり娘らの片方に 市尾 操
追ひつかぬ曾孫の成長携帯のゲームの指先しみじみ見居る 岩下 ち江

長島短歌会

夏の日の傾く舗道を救急車伸びたる影と共に駆け行く 岩下 房代
食べ残しの餌を啄む鴉らを騒がず見つむる犬の瞳 榎平 頼子
萱の葉の青くそよげる土手を行き牛に刈りたし吾農婦ゆゑ 米尾 和子
紫蘇を揉みつきし香りを湯浴みして洗ふに惜しく幾度も嗅ぐ 坂之下典子
田植機のリズムの良き音響交ひてたちまちの間に早苗田となる 中山タマエ
足や腕のリハビリに通ふ明け暮れに吾の心は晴るることなし 浜田美代子
蛙 鳴きて眠れぬと言ひし夜もありき何時しか鳴かず今年も鳴かぬ 浜畑 松枝
海深き岩に生ゆとふ鶏冠海苔あまた寄り来し台風のと 林 ヒロ

一般作品

〔短歌〕

帰省子が棕櫚の葉ひかるその先のかつて遠浅の浜を見てをり 平木 良雄
聞くならば意味知る事よ何事も愛の心ろ有るなるや 町田 末則
炒り子干し銀の絨毯敷きつめた風景思う古里の浜辺 天地 雪舞
荒れた地に松の木残り励まされ何事もなく広がる海は 中仮屋辰子
〔俳句〕
熊蟬の初声聞きぬ盛夏かな 宗方 清明